

平成27年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」検証シート

大 阪 市 立 豊 里 小 学 校

児童数

92

平均値

	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール 投げ	体力合計点
男子	17.13	18.37	31.74	42.57	45.71	9.50	124.87	23.13	50.91
大阪市	16.48	19.16	32.16	38.84	48.29	9.39	147.79	22.76	52.23
全国	16.45	19.58	33.05	41.60	51.64	9.38	151.24	22.52	53.80
女子	15.65	16.91	26.20	39.78	36.85	9.76	117.89	12.93	51.14
大阪市	16.06	17.79	36.86	36.98	37.66	9.66	140.64	13.79	53.50
全国	16.05	18.42	37.44	39.55	40.69	9.62	144.77	13.77	55.18

結果の概要

男女ともに、体力合計点は大阪市・全国平均を下回っているが、昨年度と比較すると、男子で約2ポイント、女子も1ポイント弱上回っている。

男子が大阪市平均を上回っているのは、「握力」「反復横とび」「ソフトボール投げ」の3項目で、その3項目は全国平均も上回っている。女子は「反復横とび」の1項目だが、女子もこの項目は全国平均を上回った。

「上体起こし」「長座体前屈」「20mシャトルラン」「50m走」「立ち幅跳び」は男女とも大阪市平均を下回った。

これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題

成果

・昨年度に引き続き、運営に関する計画の健康・体力の保持増進の中で、体育的活動を充実させ、「なわとびギネスや耐寒かけ足などの取り組みを通して、休み時間に体を動かす習慣を身につけるように促す」を位置づけ、学校生活の中で運動に親しむ機会を増やすことにより運動好きの児童が増えてきた。また、新たに作成した「豊里サーキット」で、児童は楽しみながら着実に体力をつけてきている。

課題

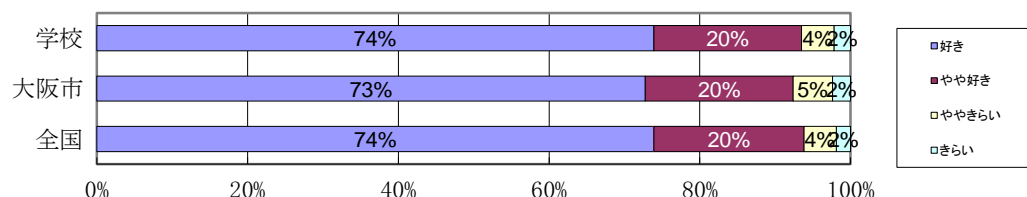
・昨年に引き続き、「運動に対する苦手意識」は児童の中にはないが、それが運動能力の向上に結び付いてはいない。現実の高い壁（大阪市や全国平均）に意気消沈させるのではなく、意欲を持って楽しみながら取り組み、結果として児童の運動能力を向上させる取り組みの工夫が必要である。

運動やスポーツについて（男子）

質問番号	質問事項
1	運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか
2	運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは得意ですか

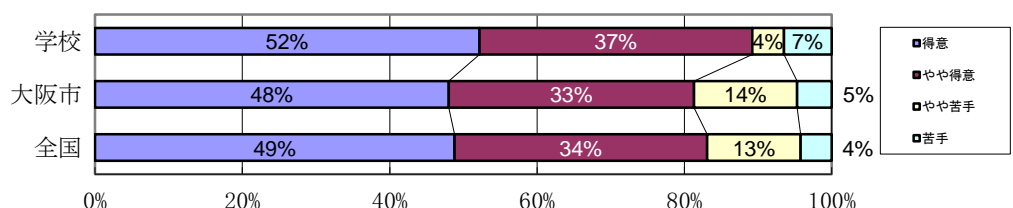
1

運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか



2

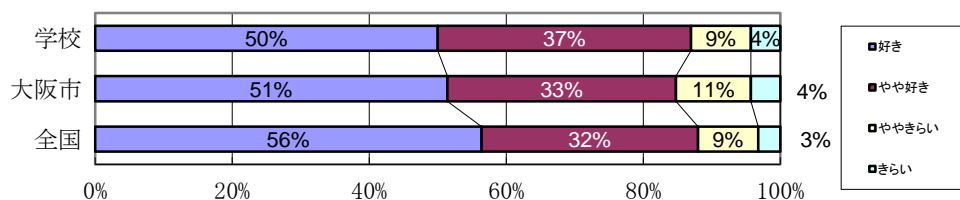
運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは得意ですか



運動やスポーツについて（女子）

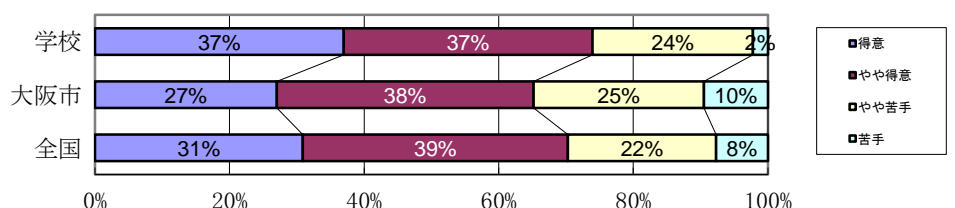
1

運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか



2

運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは得意ですか



成果と課題

- ・昨年度と同様、「運動することが好き」に肯定的に答える児童は、男女とも大阪市平均を上回り、全国平均と肩を並べる。「運動することが得意」を肯定的に考える児童にいたっては、男女とも大阪市平均を大きく上回り、全国平均をも凌ぐ。

今後の取組

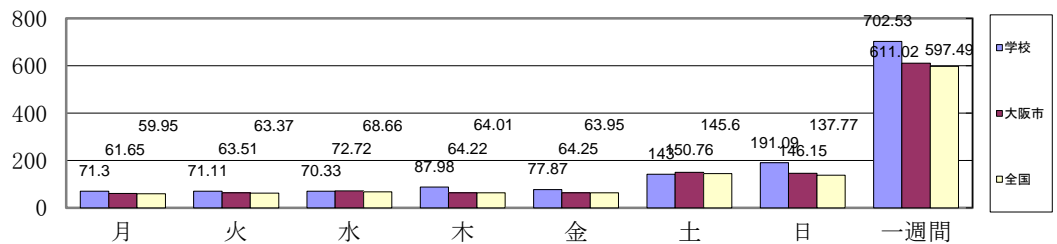
- ・「運動すること」に対する意識と、その能力（結果）とが全く結びついていない。子ども達の運動に対する肯定的な意識を高く評価しながら、標準レベルに近づく数値的な目標の提示の必要性を強く感じる。

ふだんの生活について（男子）

質問 番号 質問事項

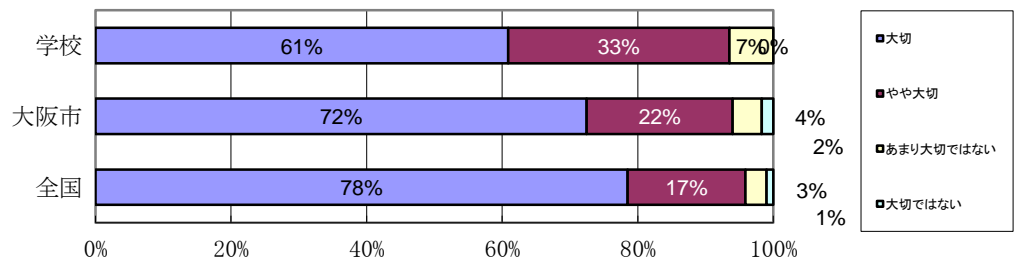
7

ふだんの1週間について聞きます。学校の体育の授業以外で、運動（体を動かす遊びをふくむ）やスポーツを、合計で1日およそ何分くらいしていますか。



19-1

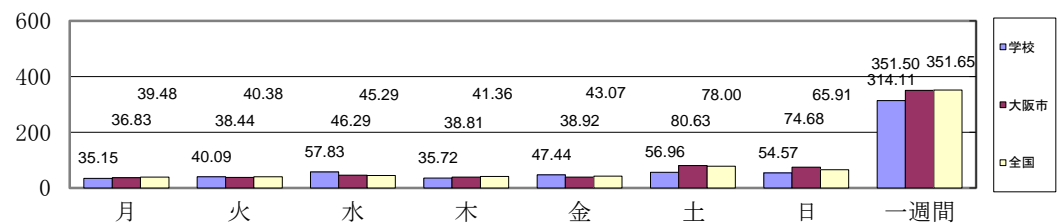
あなたが健康であるために運動を行うことはどのくらい大切だと考えていますか。



ふだんの生活について（女子）

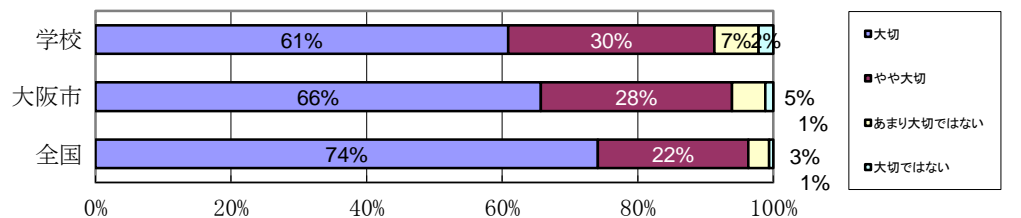
7

ふだんの1週間について聞きます。学校の体育の授業以外で、運動（体を動かす遊びをふくむ）やスポーツを、合計で1日およそ何分くらいしていますか。



19-1

あなたが健康であるために運動を行うことはどのくらい大切だと考えていますか。



成果と課題

- ・「体育の授業以外で運動する」時間は、男子は全国平均をも上回っているが、日曜日の増加が際立つ、逆に、女子は土・日曜日の減少が響き大阪市平均に及ばない。「運動と健康の意識」は運動する男子の方が高く、女子はかなり低い。

今後の取組

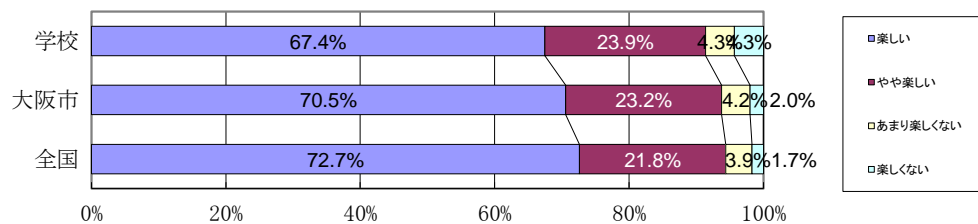
- ・授業以外での「平日の運動」はなかなか時間が取れないことが多く、土・日曜日となると地域や家庭、社会教育施設に頼らざるを得ない。様々な局面で「健康を維持するための運動の大切さ」を啓発する必要がある。

体育の授業について（男子）

質問 番号 質問事項

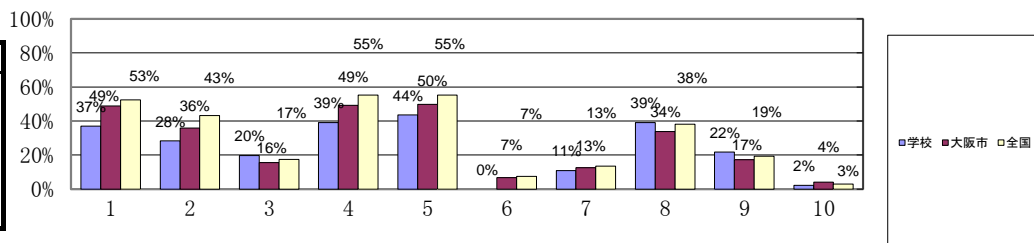
20

体育の授業は
楽しいですか



26

これまでの体育の授業で「できなかったことができるようになった」きっかけ、理由はどのようなものがありましたか。あてはまるものを全て選んでください。

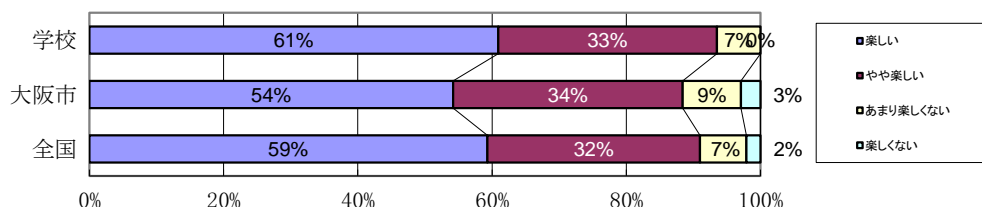


1 授業中に先生に個別にコツやポイントを教えてもらった 2 授業中に自分で工夫して練習した
3 自分に合った場やルールが用意された 4 先生や友達のまねをしてみた 5 友達に教えてもらった
6 授業中に自分の動きを撮影したビデオを見た 7 授業外の時間に先生に教えてもらった
8 授業外の時間に自分で練習した 9 授業外の時間に自分で本を読んだりビデオを見たりした
10 できるようになったことがない

体育の授業について（女子）

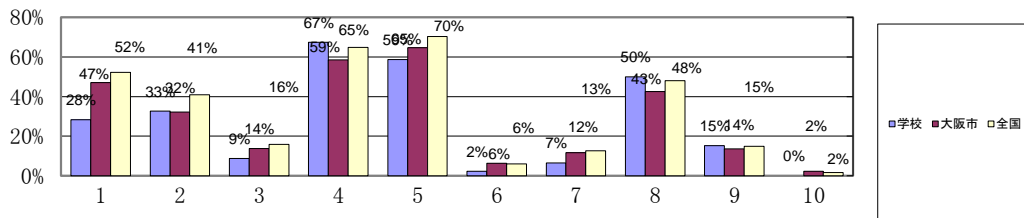
20

体育の授業は楽しいですか。



26

これまでの体育の授業で「できなかったことができるようになった」きっかけ、理由はどのようなものがありましたか。あてはまるものを全て選んでください。



1 授業中に先生に個別にコツやポイントを教えてもらった 2 授業中に自分で工夫して練習した
3 自分に合った場やルールが用意された 4 先生や友達のまねをしてみた 5 友達に教えてもらった
6 授業中に自分の動きを撮影したビデオを見た 7 授業外の時間に先生に教えてもらった
8 授業外の時間に自分で練習した 9 授業外の時間に自分で本を読んだりビデオを見たりした
10 できるようになったことがない

成果と課題

・「運動が好き」と比較すると、「体育の授業が好き」は男女で真逆の結果となった。女子が大阪市・全国平均を上回ったのに対し、男子は大阪市平均をも下回った。「できるようになるきっかけ」は男女とも「自分で練習」が特徴的で、女子は「先生や友人のマネ」が最も多い。

今後の取組

・「運動が好き」「運動が得意」と感じる子ども達の意識を大切にしながら、子ども達の運動能力を更に高めるためには「体育の授業が好き」と答えることができる指導計画の見直しや指導方法を模索しなければならない。

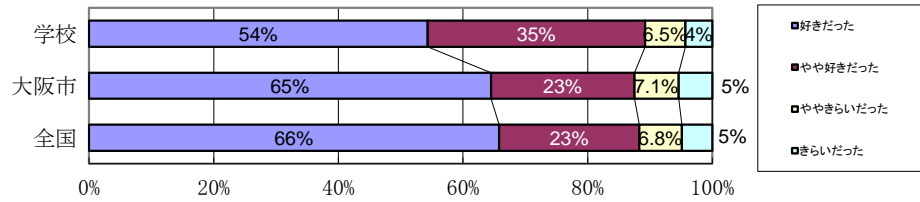
小学校入学前や現在のことについて（男子）

質問
番号

質問事項

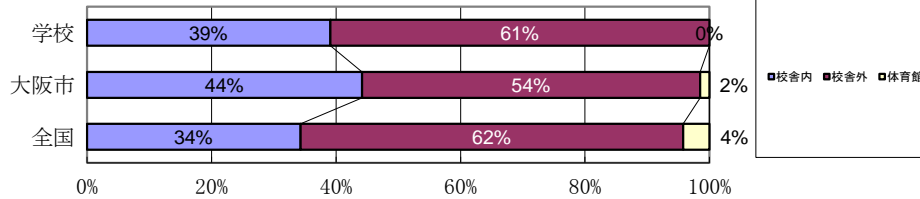
30

小学校入学前は、体を動かす遊びが好きでしたか。



31

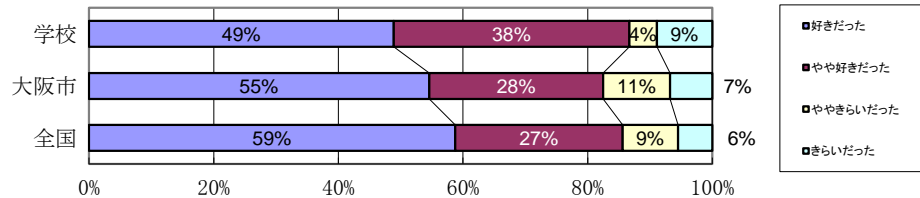
ふだん学校の休み時間はどのように過ごすことが多いですか。(係活動や委員会活動のある日を除きます)



小学校入学前や現在のことについて（女子）

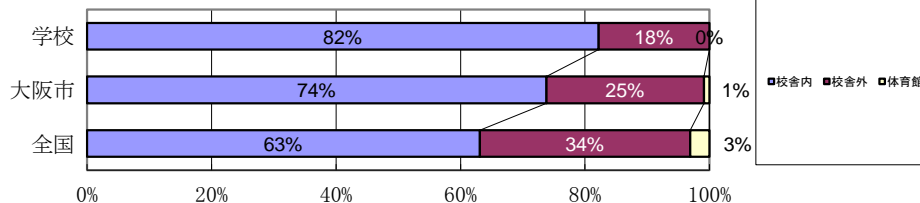
30

小学校入学前は、体を動かす遊びが好きでしたか。



31

ふだん学校の休み時間はどのように過ごすことが多いですか。(係活動や委員会活動のある日を除きます)



成果と課題

- ・男女とも、「就学前から運動遊びが好き」の割合が全国平均を上回っているが、就学後の休み時間の過ごし方は、男女で大きな差がある。男子は運動場で遊ぶ児童が大阪市平均を上回り、全国平均に並ぶのに対し、女子は圧倒的に屋内、運動場で遊ぶ児童は全国平均の約半分である。

今後の取組

- ・教室での読書など屋内で過ごすことも評価しながら、「運動が好き」「運動が得意」と感じる子ども達の運動能力（結果）を更に高める指導計画の見直しや指導方法を模索しなければならない。